

令和6年6月25日14時00分
近 畿 地 方 整 備 局
紀 南 河 川 国 道 事 務 所

くしもと

一般国道42号すさみ串本道路 硬質岩出現に対する有識者検討会結果について

- 一般国道42号すさみ串本道路(延長19.2km)の安指川橋(仮称)の下部工事の場所打ち杭施工において、通常の掘削機では対応できない硬質岩が多数出現したため、有識者検討会を開催し、硬質岩の分布や対策工法等について意見を頂いたところです。
- その結果、相当の時間を要するが、現在の施工方法のまま、丁寧に施工を進めていくのが妥当との意見を頂きました。
- 有識者の意見を踏まえ、今後の対応について検討を進めます。

【すさみ串本道路(安指川橋)硬質岩出現に対する有識者検討会の概要】

日時：令和6年6月24日(月)16時～

場所：和歌山工業高等専門学校(和歌山県御坊市)

メンバー：

学識者

- 鍋島 康之 (明石工業高等専門学校 都市システム工学科 教授)
- 林 和幸 (和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 教授)

発注者

- 中村 恭介 (近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 副所長)
- 野瀬井 雅徳 (近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 田辺国道維持出張所長)

(五十音順 敬称略)

<取 扱 い>

<配 布 場 所>

近畿建設記者クラブ
和歌山県政記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ
新宮中央記者会

大手前記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ
田辺記者クラブ
新宮記者クラブ

<問 合 せ 先>

国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所
副所長 中村 恭介
事業対策官 滋野 勝稔
TEL 0739-22-4564(代表)

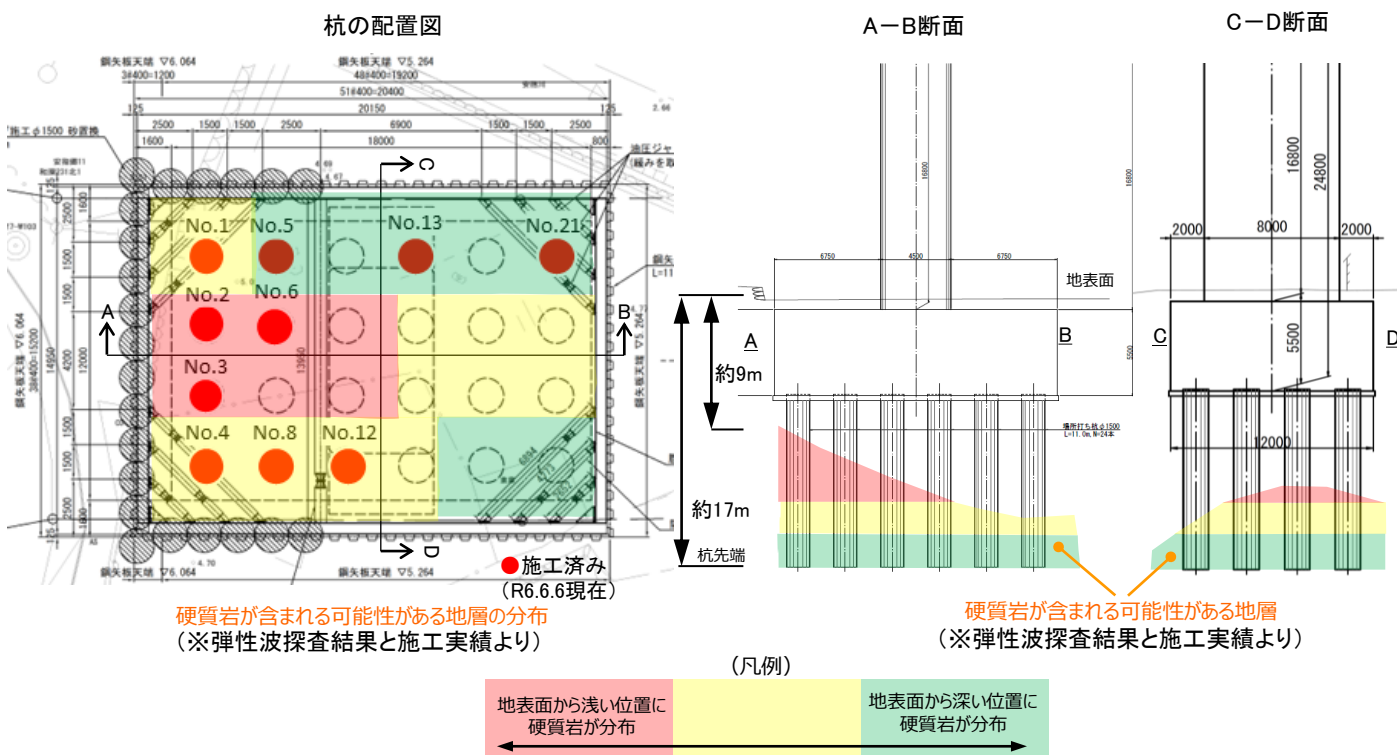
すさみ串本道路(安指川橋)硬質岩出現に対する有識者検討会結果について

【検討会での審議事項】

- ・弾性波探査結果等による硬質岩の分布状況の確認
- ・現在の工法の妥当性の確認
- ・基礎地盤支持層の妥当性の確認

【硬質岩の分布状況の調査結果】

弾性波探査結果(R6.6実施)と施工実績による地盤状況



【有識者の主な意見】

■硬質岩の分布や対策工法について

- ・事前のボーリング調査結果では、今回のような硬質岩の分布を把握することは困難。
- ・今回の弾性波探査の結果、残る施工箇所にも硬質岩が確認された。
- ・当該地域は硬質岩が入り組んだ特殊な地山のため、今後の掘削時にも硬質岩出現が見込まれ、掘削完了まで相当な時間を要すると考えられるが、現在の工法のまま、安全性を考慮し、丁寧に施工を進めていくのが妥当。

■基礎支持地盤の妥当性について

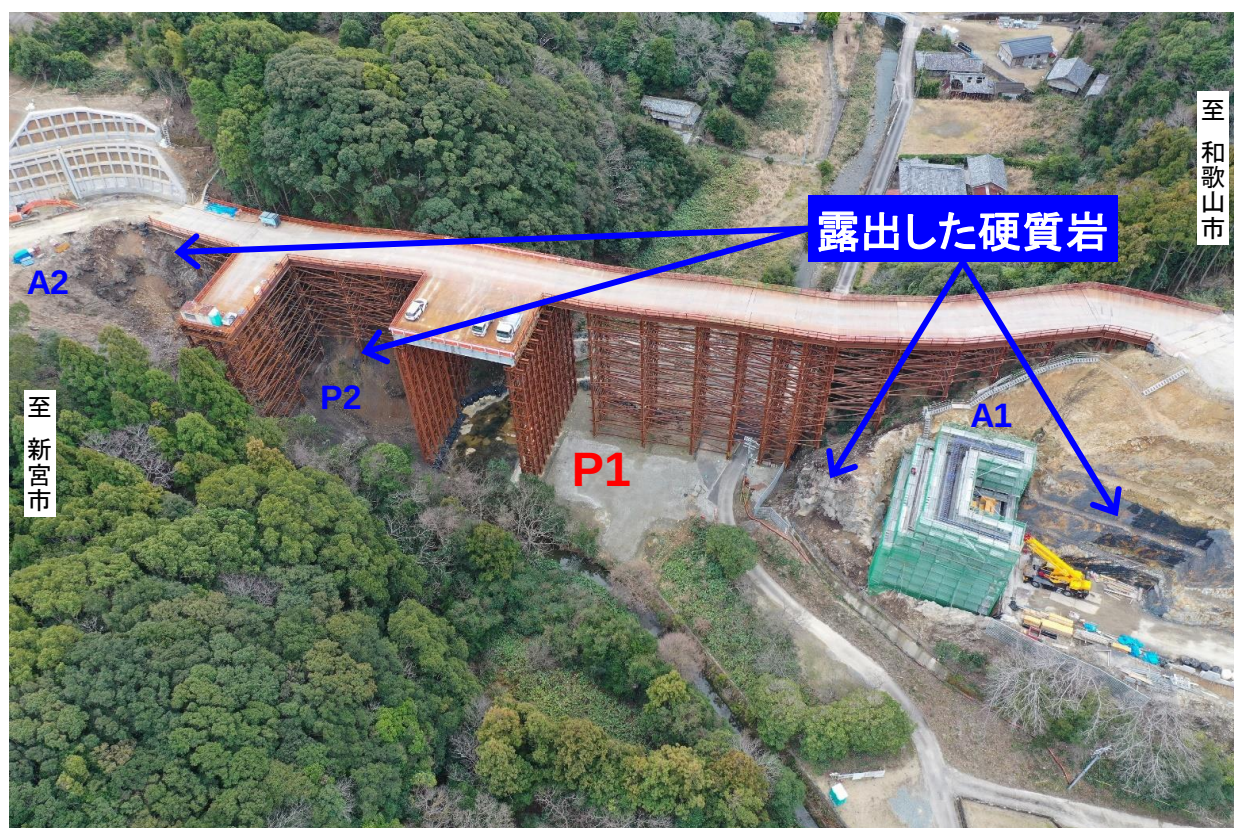
- ・今設定している基礎地盤支持層及び杭基礎の施工方法について、変更する必要はない。

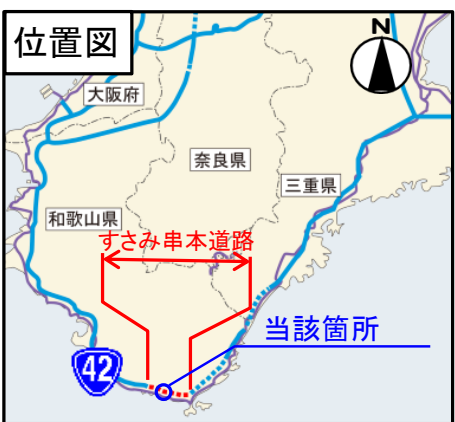
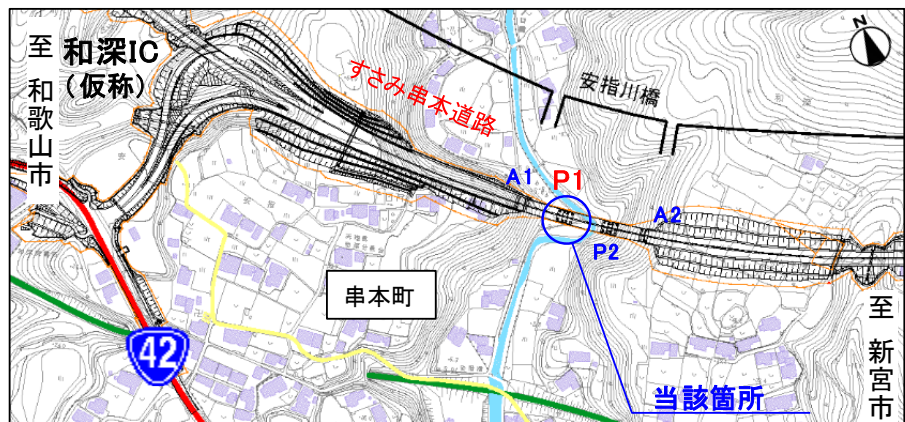
一般国道42号 すさみ串本道路 安指川橋 位置図

参考



A1～P1周辺の硬質岩の概況





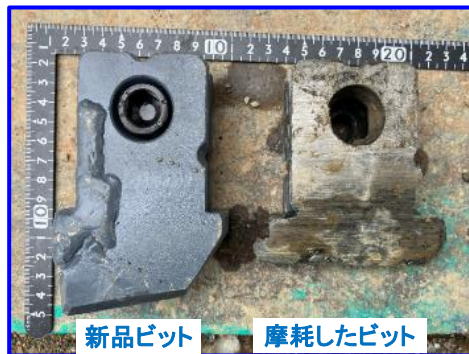
出現した硬質岩



P1の施工状況(場所打ち杭)



硬質岩によりビットが損耗し掘削難航



安指川橋P1施工箇所で硬質岩が出現

